

ITプロジェクト開発・チームプロジェクトⅣ

■科目概要

チームプロジェクト型の制作授業。

各チームを編成し、企画立案・開発を通してプロダクトを生み出す。

■担当一覧

カテゴリ	クラス	教室	月曜担当	木曜担当
Web・IT合同制作	IE3, SK3, WD3A	2404教室	田中(明)	坂倉
IT企画開発	IE3, SK3	3202、3203教室	田中(信)	田中(信)
			辻川	有川

■制作テーマについて

ニーズやターゲットを分析してプロダクト・サービスを生み出す

ITの技術やデザインの表現力を使い問題解決を行うプロダクトを

0から企画して開発を進めます。こういったニーズやターゲットに着目するのか
チーム内で掘り下げて企画に落とし込んでください。

■スケジュール

週	概要	
1	初回ガイダンス、チーム分け	授業の方針・制作テーマ発表
1	自己評価作成・チェック	自身の評価シートを作成し、お互いに内容の確認
1	チーム編成	上記内容から、チーム編成
1~4	企画立案・チェック・ブラッシュアップ	企画の立案および教員によるチェック
4	企画プレゼン	ITソリューション企画のプレゼンテーション
5	スケジュール作成	開発スケジュール作成
6~10	システム開発期間	詳細設計・製造・総合テスト 作業期間
11	プレゼン準備	成果発表プレゼン準備期間
12	カテゴリ別プレゼン	カテゴリごとの教室で成果発表プレゼン
13	作品データ提出	制作物の整理および提出
13	選抜合同プレゼン	各カテゴリから選抜作品の合同プレゼン
14	作品展示準備	前期+E展に向けた展示会に必要な準備作業期間
15	授業内作品展示	IT企画開発・Web合同の授業内作品展示

■チーム編成について

チーム編成後は、チーム内で自己PRを行いメンバーの長所チームの方向性などを必ず話し合っておくこと。

詳細な運営は、授業担当の教員の指示に従ってください

■チームのルール

チームでのトラブルを防ぐためにも以下のルールを守りましょう

1. チーム内で責任者を決めること

2. 毎月の目標を決めること

その月にどこまで作業を実施するのかチーム内で話し合い、月の目標をたてること

3. 週の初めの1コマ目に進捗の共有時間を作ること

立てたスケジュールに遅れがあるか、誰が何に困っているかを週に1度初めの時間に

必ず話し合いの場を設けてスケジュールの調整や週目標を確認すること

4. 原則Gitを使い、コードの管理を行うこと

XXXの機能実装やXXXの途中など、内容が第三者にわかるようにコミットのコメントを入れましょう

5. Gitのマージを行う担当を決めること

マージの際にトラブルが起きがちです。誰でもマージをするのではなく、担当を明確にしておくこと

6. チームでフォローすること

就活や病欠など、イレギュラーなことがあった場合、特定の人しかわからない、データを持っていないとならないようにコミュニケーションを取ること、他の人がフォロー出来るようにすること。チームが全員で良いものを作る意識と方向を備えて、トラブルを回避しながら制作を進めましょう。相談事はいつでも担当の先生へ相談を

■使用ツールについて

授業ではプロジェクト運営に以下のツール類が使用可能です。

目的	ツール	概要
全体連絡	Teams	全体および各カテゴリごとにチャンネルを作成して連絡、情報共有のために使用
コミュニケーション	Teams	Teamsのチャットにチーム毎にグループを作成してチーム内のコミュニケーションツールとして利用
アイデア出し	miro	アイデアマップの作成などに利用
スケジュール管理	Backlog	リーダーにプロジェクト管理者の権限を付与して運用する ガントチャートの作成を行い、スケジュールと進捗管理に利用
ソース管理	Backlog	BacklogのGit機能を有効化してリモートリポジトリとして使用

※その他、チームで必要なツールなどは自由に導入してもらって構いません。

■プロジェクト運用

1. 各チームで行う作業内容はWBSなどを使用して管理を行う

内容はいつでも確認できるようにして、チームの進捗状況を把握できるようにすること

2. 課題(作業内容)は重くしないこと

1 課題につき 1 つの作業で課題を作成していくこと。 N G 例) 画面作成 A P I 作成

3. だれが・いつまでに・なにをするのか担当者を明確にすること

作業内容の担当者やスケジュール設定などはBacklogで管理してチーム内で情報共有すること

4. 品質管理を行うこと

作りっぱなし、任せっぱなしにせず、制作データの確認などを行い、良し悪しは一人の責任にせず、

チームでより良いベターになるようにコミュニケーションをとること

■授業評価

制作物評価 + 個人別評価 = 授業評価

制作物評価は、システムの完成度で評価を行います。

個人別評価はチームへの貢献度と展示会の参加を元に評価を行います。

■提出物

各チーム共通して下記ファイルは提出すること

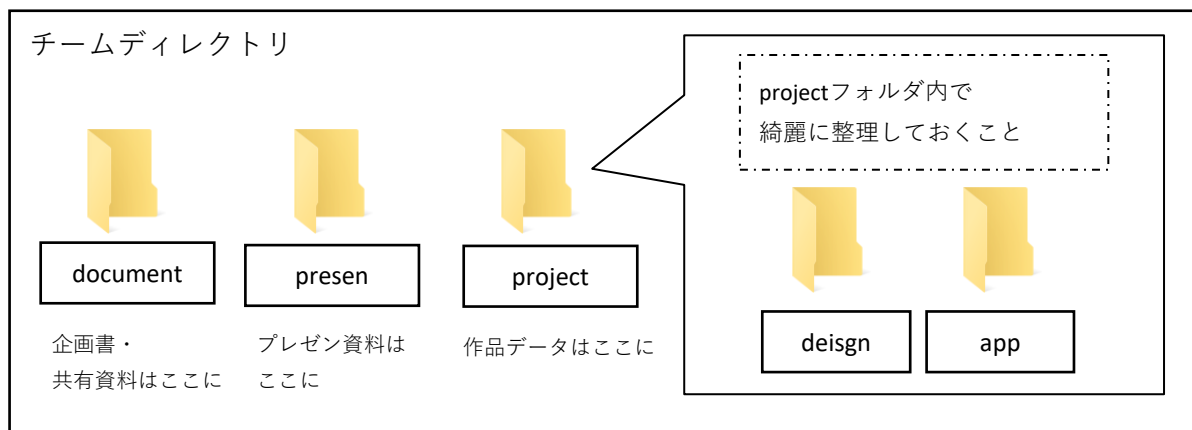
- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 企画書 | 形式：PDF (枚数指定なし) |
| 2. スケジュール | 形式：PDF (WBSをPDFにて出力) |
| 3. プレゼン資料 | 形式：自由 |
| 4. 作品データ | 作品に合わせた各種プロジェクトデータ |
| 5. 開発経歴書 | 形式：Excel |

●データ提出場所

[¥¥sv23¥提出24¥IT¥チーム制作¥ITプロジェクト開発 企画開発](#)

※以下チームごとにディレクトリを作成して提出

●提出物ディレクトリ



●注意点

- ・提出データは、他PC等で再現可能な状態にしておくこと

Android、サーバサイド、データベースなど、他PCで作業データが確認できるように再現できる状態にしておくこと

特にデータベースの構築情報と再現データは必ず提出し、特定の人しか操作や再現が出来ない状態を避ける

- ・著作権には注意すること

画像データや、その他ファイル類全てにおいて著作権侵害とならないよう、各チームで注意を払うこと。